

# るくおん通信

発行日： 1991年10月15日

No. 38号

発行者： 盲人情報文化センター録音製作

## 9月の「音訳研修の会」から

### ( ) の処理について

9月25日(水)、盲人情報文化センター9階ホールで行われた、第4回「音訳研修の会」には、府下から、11グループ、65人の参加がありました。今回は、( ) の処理で、今までのマニュアルでは処理できない例などを取りあげ、より簡潔でわかりやすい処理についての研修がおこなわれました。(担当はICCBの水曜日チーム)

#### 1. 現在の( ) の処理

##### 1-1 ( ) をはずして読む

○はずして読んでも読み方で意味がわかる場合

<読み方> ・続けて同じ調子で読む

・少し間をとる

・声を低くする

##### 1-2 ( ) をはずして読み、そのあとで( ) の前の言葉にもどる

○少し戻る場合

○多く戻る場合

##### 1-3 カッコ・・・カッコトジ(またはトジ)と読む

#### 2. 1で処理できない場合の例

##### 2-1 ( ) 内の言葉が外の言葉にかかる時は、一つの言葉として読む

##### 2-2 カッコ・・・カッコトジ(またはトジ)と読み、そのあと( ) の前の言葉にもどる

##### 2-3 カッコ、カッコトジを別の言葉に置き換えて読む

##### 2-4 ( ) の文章を前後に移動する

##### 2-5 ( ) 内を無視する

以下、具体的に例文を上げて検討していきました。

### 1-1 ( )をはずして読む

☆(続けて同じ調子で読む、少し間をとる、声を低くする・・・など)

○ソ連臨時人民代議員大会は四日午前十時(日本時間同日午後四時)から続開し、新決議案が起草委員会から配布された。

○この記号もさきに紹介した本木昌造が明治三年(一八七〇年)欧文方式を参考にして作ったものにさかのぼる。

○バリはジャワ島の東端と幅わずか1600メートルの海峡をへだてて、なにか海の生物を思わせる奇怪なかたちにひろがっている面積五六二一平方キロほど(四国の三分の一弱)の島であり、インドネシア共和国の一州でもあるわけだが、そういっただけで何かがわかるようなところでもない。

○川上のやり方は<管理野球>(controlled baseball)という呼び方で広まった。

○バスを大井川畔で降りて、川の手前を南(春日方面に向かって右)へ川沿いに進むと、やがて三叉路に出る。

○もしゴルバチョフが改革に失敗してソビエトがばらばらになってしまうと、巨大なロケットをもったカダフィ(リビアの最高指導者)が何人も出現することになる。世界は大変な危険に晒される。

○それがある時(多分一万年前の氷河期の終わり頃といわれているが)、ひよんなことで(自ら選択したかどうか魚に聞いてみないとわからないが)、「海へ下らんと、ずっと川にいよ」と決めたらしくて、日本の内陸部に棲むことになった。

○外科医トーマス・スターズルが、つぎのようにのべている。

「(一九七〇年代のはじめに)需要が爆発的にのび、いわゆる『フランチャイズ』をめぐって世界的にたいへんな『スターウォーズ』が展開されるようになった。」

\* ここにあげた例では、( )内の文章をそれほど意識して読まなくても文章の流れは聞き手に伝わります。最後の例などは声を低くして読まれると、かえって( )内の文章が前に掛かるのか後に掛かるのかが分からなくなります。( )内の文章を普通に読んで混乱なく内容が伝わる時にはそのまま読んでよい例です。

### 1-2 ( )をはずして読み、そのあと( )の前の言葉に戻る

<少し戻る例>

○鳥がよく集まる場所のひとつが磯辺(海岸の意味ではなく地名)にあった。

○聖ルソー（ジョルジュ・サンドはうやうやしくそう呼んだ）などということばを聞いたら、ふたりは何と言っただろう。

○私が嘘について少女を救い、使用人たちが（どんな宝石を私が持っているか知っている）嘘をつかなかつたら、私が宝石を隠したと非難されることになるだろう。

<多く戻る例>

○これまでのような漠然とした不安状態（それは、誰も彼の病気にたいして何も表現しなかったために生じたのだと思う）よりも余程いい。

\* ( ) 内の文章が ( ) の前の言葉とつながって文章として成立ち、後の文章とのつながりが分からなくなるときや、( ) 内の文章が後の文章につながり内容が混乱するとき等は ( ) の前の言葉に戻る。戻る時には、どこまで戻ればわかりやすいかに注意する必要があります。短く戻ると、戻った事が分からない事があります。

### 1-3 カッコ、カッコトジ（またはトジ）と言って読む

○皇帝と八〇〇万の臣民はドイツ人だが、その倍の数のスラヴ人（チェコ人、スロヴァキア人、ポーランド人、ルテニア人、スロヴェニア人、クロアチア人、セルビア人）、五〇〇万のハンガリー人、五〇〇万のイタリア人、二〇〇万のロマニア人がいる。

○・・・にあわない可能性は高いが、そのすべてに遭遇しない確率はいやになるほど低い。ここであげた確率を掛け合わせてみただけでも（それぞれの不幸はほかのものとは無関係だとする）、答えはあつというまに非常に小さな数になってしまう。

○それは文章を朗読的に読むだけでなく、くぎりの句読点、感嘆符（あまだれ）、疑問符（耳）などもひとつ残さず読んでゆく。

\* この例ではカッコ、カッコトジ（またはトジ）を言わないと、内容がわかりにくい例です。仮に、音声訳者が読む声を変えたとしても、すべての聞き手がそれを聞き分けられるとは限りません。音が変わったことが分かっても内容が正しく伝わらなければ意味がありません。

### 2-1 ( ) 内の言葉が外言葉に掛かるときは、一つ言葉として読む

○小錦があやうく廃業してしまうのではないかと思われていた、あの運命的な夏（五月）場所八日目の対北尾戦である。三勝四敗の小錦が全勝の北尾に土をつけた！ 明らかにそう見えたのだが、勝負検査役の妙な物言いがもつて、勝敗がひっくりかえってしまったのだ。

○ごく最近の研究によると同じ型のクオークでも、よく見ると緑色のもの、赤色のもの、青色のものと三色（種類）のクオークのあることがわかってきています。大ざっぱに見ていたときは、

この三原色が重なり合って無色になって見えなかったのです。

\* ( ) 中の言葉が ( ) の前後に掛かる場合、前後のどの言葉にかかっているか注意が必要です。最初の例では、「あの運命的な夏、5 月夏場所・・・」と読むと内容が変わってしまいます。「あの運命的な夏場所、5月場所、・・・」と読んで初めて正しく伝わるのではないのでしょうか。

## 2-2 カッコ・・・カッコトジとよみ、その後 ( ) の前の言葉に戻る

○また、『御府内備考』には浅草花川戸町に住む下座見日屋（江戸城の見付その他の番 所で、諸大名などの通行を見て氏名を大声で呼びあげ、往来の人々に下座の注意を与える足軽が下座見）の妻が、武家から嫁にきて、貧困の中で、姑や夫を立てて、種々尽くしたことにより表彰されたことが出ているが、あんなことは自分たちにはできないと周囲の者がいったという。

○インカ帝国の王、アタワルパが幽閉されていた部屋（なんとアタワルパは、侵略者ピサロに、自分の身の代金としてその部屋いっぱいの黄金を用意したという。今の金額にしておよそ一七兆円。しかもその後アタワルパは殺されている）のあるカハマルカからチョコゴルというアンデスの村に向かって富士山の高さの高原を車で走る。

\* ( ) 中の文章が長い場合、そのまま読むと補足文であることが分かりにくく、前後の文章がつながりません。場合によってはカッコ・・・トジの後 ( ) の前の言葉に戻ることが必要です。また「カッコ」と言うことで、「注」と言うことと同じような形になります。「注」と言わずにいきなり注を読み始めると、どこから注が始まったのかが分からないのと同様なケースです。

## 2-3 カッコ、カッコトジを別の言葉に置き換えて読む

○前にあげたマーチソン隕石には、各種のアミノ酸のほかに、RNAやDNAに使われているA、T（DNAだけの塩基）、C、G、U（RNAだけの塩基）の五種類の塩基もみつかっています。（一般教養書の場合）

\*別の言葉に置き換えて読む時は、原則としてこれまでの処理方法では正しく伝わらないような時の事です。この例の場合、声を変えてもカッコを言っても正しく伝わりません。正確に伝える為には、( ) 内の言葉が、TとUだけに掛かっていることを分らせる必要があります。

読み方としては、「A T、TはDNAだけの塩基、C G U、UはRNAだけの塩基、の五種類の・・・」

言い替えずに伝える方法としては、「A、コンマ、T、カッコ、DNAだけの塩基、トジ、コンマ、C、コンマ、G、コンマ、U、カッコ、RNAだけの塩基、トジ の五種類の・・・」と読む方法もありますが、どちらが良いかは読み手が本の内容などで決める必要があるでしょう。

2-4 ( ) の文章を前後に移動する。

○この人々は強い社会党支持ではないから、もちろん、社会党政権など望んでいない。小林助教授の研究室の調査によると、社会党に政権担当能力があると思っている人は、わずか5.5パーセント(自民党は73.3パーセント)しかない。

\* ( ) の文章を勝手に動かすことはできるだけ避けるべきです。しかし、このような場合カッコをはずしてそのまま読むと、「自民党は73.3%しかない」と伝わりそうです。この場合「・・・わずか5.5%しかない。(自民党は73.3%)」と( ) の文章を移動すれば誤って伝わる恐れもありません。

( ) 内を移動する場合、意味が変わって取られるケースもありますので慎重に行う必要があります。

2-5 ( ) 内を無視する。

○レモンは戦前から割合に日本人にも親しまれてきた果物で、文学などにも登場していますが、その一つとして、梶井基次郎の『檸檬』(レモン)の一部をご紹介します。

タジマモリ

○タチバナは「古事記」や「日本書紀」の垂仁天皇の条に田道間守が仰せによって常世の国へ行って、非時香実(ときじくのかぐのこのみ)を求めてきたとあります。

\* ( ) 内の言葉が、振りがなの意味で使われている場合などは無視していいケースです。その逆で漢字などが添えてある場合もあるでしょう。但し、漢字が問題になっており字の説明がある場合もあり慎重にする必要があります。

3. ( ) を処理するにあたっての考え方

( ) の処理を行うときの原則は、

1. 原則としてできる限り原文を変更せず、
2. 聞き手に内容が伝わるように処理することにあります。

しかし、これまでの処理は、「カッコ・・・カクコトジ」といったり、( ) 内の文章を声を変えて読むという処理だけで済ませていたのではないのでしょうか。つまり、( ) であることを分からせることに主眼が置かれる傾向にあったように思います。しかし、もう一つ大切なことは、( ) 中の文章と前後の文章とのつながりなどを考え、聞いていて意味がわかることを中心に処理することだと思えます。

聞いて分かるような( ) の処理を考えていくと、これまでの処理だけでは対応できない場合がでてきます。今回は、今までの処理で対応出来ない場合の例をあげて考えてみましたがいかがでしたか。次号では当日行いました練習問題をレポートします。

(報告 清水)

## 第5回音訳研修の会のご案内

テーマ： 目次の読み方、録音図書凡例など本文に入るまでの処理

日時： 1991年11月28日(木)

13:30~15:30

場所： 盲人情報文化センター9階ホール

本によってさまざまな目次をどの様に処理するか、その具体的な方法や録音図書凡例はどのような時に、どの様に断わるか、本文に入るまでの処理について研究します。

## リクエスト図書一覧

下記の図書は利用者から原本を用意されて製作依頼を受けています。音訳してもよいと思われるグループや個人の方がいましたら、下記までご連絡ください。はじめてのグループも歓迎します。  
(連絡先: 06-441-0015 盲人情報文化センター録音製作係、清水)

- 『Lisp/MS-DOS版エキスパートシステム構築法』 /高橋邦芳著: <情報科学、専門書>  
『白牡丹 竹内武城句集』 /竹内武城著: <詩歌>  
『最後の扇』 /山本耕一編著: <俳句>  
『ことばがヒラかれるとき』 /竹内敏晴著: <言語>  
『新世代ビジュアルソフト「遊・名人Ver.2.0」操作ガイド』 /ユース事業部著: <コンピュータ>  
『黒い臨月、ほか』 /山本正志著: <小説>  
『母乳で育てる!おっぱいの出し方・飲ませ方』 /根津八紘著: <医学>  
『灯』5,6,7月号 /松本政高編: <詩歌>  
『会社法』 /鈴木竹雄著: <法律>

△内は分類

## 音訳を引き受けて頂いた図書とグループ名

- |                               |               |
|-------------------------------|---------------|
| 『天皇制の文化人類学』 /山口昌男著:           | えくてもあ         |
| 『大人の始発駅』 /河合奈保子著: <音楽>        | えくてもあ         |
| 『アルバート・アーノルドベンネット』 /ベンネット夫人編著 | えくてもあ         |
| 『灯』1月、4月号 /松本政高編: <詩歌>        | えくてもあ         |
| 『絵本のある生活 4』 /正置友子著:           | テープライブラリーにのみや |
| 『「ちびくろサンボ」絶版を考える』 /怪書房編       | テープライブラリーにのみや |
| 『脳は語らず』 /渡辺淳一著                | みなわ           |
| 『ヘルシー・プレジャー病は気から』 /大島靖訳       | みなわ           |
| 『日本の古典芸能8歌舞伎』 /芸能史研究会編        | ICCB          |